

2025年12月26日

株式会社オプトルに対するブランディングサポートの実施について

manordaいわて株式会社（本社：岩手県盛岡市、代表取締役：石川恒介）は、株式会社オプトル（本店：岩手県花巻市、代表取締役社長：竹本浩志）に対して、ブランディングサポート（※）を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回の取り組みは、岩手県花巻市に事業所を構える株式会社オプトルが、地域とのつながりを深めながら企業としての価値を高めていくことを目的としたものです。同社へのブランディングサポートにあたっては、同社の事業に対する想いを起点に、会社全体の価値や姿勢が一貫して伝わるよう企業ブランディングの視点から、一般社団法人岩手アートディレクターズクラブに所属する地元クリエイターと共に、「オプトルマガジン」の作成、国内展示会「CEATEC」や北米展示会「CES」のブースデザイン作成などに取り組みました。

弊社では、これからも事業者と地元クリエイター等との協業の機会を創出し、企業価値を最大限高めるためのブランド構築や地域ブランド開発に取り組むことで、持続可能な地域循環型社会の実現を目指してまいります。

記

■目的

株式会社オプトルでは、「光の恩恵を 幸せにつながる価値へ」という企業理念のもと、光の持つ無限の力を多様な価値へと転換し、人々の健やかで豊かな生活の実現に貢献したいという強い想いを持って日々の研究・開発に取り組んでいます。本件では、同社が花巻の地に根差し、地域とともに歩んでいく姿を見据えながら、同社の想いが社内外に一貫して伝わるようブランディング支援を行いました。企業としての方向性と地域とのつながりの両面をデザインで可視化することで、同社の企業価値のさらなる向上と、地域における存在感の強化を目指しています。

■ブランディングサポート内容

「オプトルマガジン」作成、CEATEC 国内展示会/CES 北米展示会ブースデザイン作成

«制作物»



< オプトルマガジン表紙 >

< CEATEC 展示会ブース >

< CES 展示会ブース >

オプトルマガジンでは同社の想いや代表のメッセージなどをはじめ、分野ごとの事業内容やスタッフインタビューを掲載し、これまでの企業の歩みをまとめました。

また、2025年10月14日から17日まで幕張メッセで開催された「CEATEC2025」に出展し、自動車向け光学デバイスの小型化・省資源化に貢献するメタレンズ技術を紹介しました。出展にあたっては、より効果的な展示ブースとなるようデザインを制作しました。

参考：株式会社オプトル「CEATEC2025 出展のお知らせ」(2025年9月23日)

<https://www.optowl.com/about/2025/0923000055.html>

さらに同社は、2026年1月6日から9日まで米国ネバダ州ラスベガスで開催される「CES 2026」に出展し、メタレンズ技術を紹介します。今回の出展にあたっては、メタレンズをモチーフとしたブースデザインを新たに制作しました。

参考：株式会社オプトル「CES2026 展示内容のご紹介」(2025年12月18日)

<https://www.optowl.com/about/2025/1218000062.html>

■プランディングサポート先の概要

事業者名	株式会社オプトル 代表取締役社長 竹本浩志
花巻事業所(本店)	岩手県花巻市大畠第10地割109番地
本社	神奈川県横浜市筑区新栄町16-1
業種	光学機械器具・レンズ製造業
事業概要	2024年7月にリコーインダストリアルソリューションズのオプティカル事業を株式会社リコーより承継し、発足した。光学・画像処理技術分野の製造業を行う。事業は「センシング事業」、「プロジェクション事業」、「コンバージョン事業」の3つを中心に展開している。

※「プランディングサポート」とは

地域や企業の抱える課題を、デザインの力で解決し、プランディング、商品開発、広報戦略の質を上げ、地域や企業の価値向上を支援するサービス

■本件に関するお問い合わせ先

manorda いわて株式会社 担当：幅下、田幸 (019-624-8100)

以上